

ふれあいネットワーク

社協 だより

じょうえつ

Contents

- **Pick up** いざという時に備え
防災について考えてみませんか…②
- 住民福祉会レポート…③
- 赤い羽根共同募金運動のご報告…⑤
- 地域でキラリ！ ほか…⑥
- 善意の寄付に感謝を込めて…⑦
- 上越市社会福祉協議会表彰式…⑧



めくりんからの一言！

ふ だんの
く らしを
し あわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めくりん」

南新町町内会・南高田町町内会・城西中学校の合同防災訓練で中学生が住民と協力し、避難者の確認を行っている様子です。中学生も頼もしい地域の一人、「助けられる側」から「助ける側」へと意識が変わります。防災訓練など有事への備えは、日々の安心へとつながりますね。

そこで、めくりんから防災意識を高めるクイズを一問！

【防災クイズ】

大人1人に必要な飲料水は1日何リットルでしょうか？（答え：2ページ下段）

Pick up

いざという時に備え

防災について考えてみませんか



東日本大震災から8年が経過しましたが、昨年も西日本豪雨や北海道胆振東部地震があり、毎年日本各地で大規模災害が発生しています。

人の力では災害の発生を止めることはできませんが、「いざという時の備え」があったことで被害を最小限に抑えることができた事例は数多くあります。

災害による被害を少なくするには、「自助」「互助」「公助」の連係が重要だと言われています。

今一度、この「自助」「互助」「公助」について知っていただき、いざという時に個人で、地域で、何ができるか考えてみましょう。

上越市社協としても防災に関わる取組を行っています。関心のある方は、最寄りの支所へご連絡ください。



自助

自分の命は自分で守る

防災の基本は「自助」です。大切な家族・地域を守るためにも、まずは一人ひとりが自分の身は自分で守りましょう。

自助の取組

- ① 災害に遭遇した時の身の守り方を知っておく
- ② 自宅の安全対策をする
- ③ 水や食料を備えておく
- ④ 地域の人物・環境を知っておく
- ⑤ 災害に関する学習会・勉強会に参加するなど



上越市社協の取組

- ・福祉教育推進事業「防災学習」
- ・災害ボランティアセンター設置訓練 など

連係が重要

公助

公的機関による支援

「公助」は、自助や互助の力では解決できない問題を公的機関が行う支援です。

公助の取組

- ① 災害情報の伝達
- ② 自衛隊や消防の救助活動
- ③ 支援物資の提供
- ④ 避難所の開設
- ⑤ 仮設住宅の設置 など



互助

隣近所・町内で力を合わせる

自助の限界、公助の手が届かないところは、「互助」の隣近所・町内で協力し、助け合わなくてはなりません。互助の取組の重要性は一層増しています。

互助の取組

- ① 自主防災組織の体制づくり
- ② 地域での防災訓練
- ③ 地域内での見守り活動
- ④ 地図を活用した地域の実態把握
- ⑤ 助け合いの一助になるサロン活動
- ⑥ 災害ボランティア活動 など



住民福祉社会レポート

2年間のモデル期間が終了し、
今後は全市で展開していきます

昨年度から住民福祉社会モデル地区として住民主体の福祉活動を実践している諏訪区、中郷区、名立区は、3月で2年間のモデル期間が終了となります。

三和区でも早期に住民福祉社会の取組が進められ、それぞれ地域の実情に応じた福祉活動が展開されました。

4月からは新たに取り組む地区も増えます。地域自治区を基本的な範囲として少しずつ地域での自主的な福祉活動が広がっています。暮らしやすい地域をつくるために、皆さんの地域でも社協と一緒に住民福祉社会の取組を進めていきましょう！

諏訪区 住民福祉社会

歩く会 NEW!

10月13日の早朝、子どもから高齢な方まで一緒に自分たちの住む地域を歩きました。

自然を肌で感じ、健康のために歩く習慣を身につけるきっかけづくりになりました。

世代間の交流が図れ、改めて地域の良さに気づくことができました。良い機会となりました。



中郷区 住民福祉社会

整容介護セミナー NEW!

9月21日に、すこやかサロンの参加者を対象に日帰り温泉で“お楽しみ敬老会”を開催し、入浴後に「整容介護セミナー」を実施しました。

パックやメイク、ネイルなどを体験し、普段できない「美の時間」を楽しみました。オシャレや身だしなみを整えることは認知症の予防にもなり、良い刺激になったと思います。

体験には、昨年度整容介護コーディネーターの資格を取得された方やボランティアさんにご協力いただきました。



名立区 住民福祉社会

外出支援事業 NEW!

昨年度実施したアンケート調査の結果をもとに、今年度新たな取組として高齢者などの外出をサポートする事業を10月から開始しました。

「いきいきサロン」の参加者で外出支援を希望される方に月1回のペースで実施しています。

11月は車内から上越妙高駅を遠望し、その後は市内のスーパーで買物、12月はショッピングセンターでゆっくり買物をしたりお茶を飲んだりと有意義な時間を過ごしていただいています。



三和区 住民福祉社会

防犯教育事業

区内にある3つの小学校で、4年生を対象に地域の危険個所を探訪し、その結果を地図に描く活動を実施しました。

探訪の中では、地域の方にインタビューするなどし、自分たちの目と耳を使って情報を得ながら、地図を完成させることができました。



高齢者見守り事業

外出を支援する「みんなの足」（無償運送）・「ささえあい」（福祉有償運送）の運転手が利用者との会話を通して、通常と異なった動き・口調があった場合には事務局へ報告してもらい、事務局からケアマネージャーへ状況を伝えて対応していただいています。

平成30年度は2案件に対応していただきました。

※「住民福祉社会」とは…

住民が自ら地域の福祉（生活）課題等について考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する活動組織です。

全国的にも「地区社協」、「校区福祉会」等の名称で設置されています。

（上越市では「住民福祉社会」という名称で上越市社協が地域に働きかけ、取組を進めています。）

『なりたい・したい』を応援します！

デイサービスセンター謙信高志の里 リニューアル



デイサービスセンター謙信高志の里 外観

昨年11月19日に、「デイサービスセンター謙信高志の里」が開設しました。上越総合福祉センターデイサービスの機能強化のため、新たな施設建設を進め、名称も地域やご利用者の皆様から公募しました。

皆様から親しみを感じて頂けるように一人ひとりの希望や目標を大切に精一杯努めてまいります。



個別対応可能な浴槽



機能訓練コーナー

■問合先：

デイサービスセンター
謙信高志の里

■電話：025-526-1616

■FAX：025-526-1625

3月25日(月)

当協議会の事務所が移転します。

～上越総合福祉センターへ～

当協議会の総務課、地域福祉課、上越南支所を上越市福祉交流プラザから下記のとおり上越総合福祉センター3階へ移転することになりました。これに併せて同センターの介護サービス課、上越北支所も1階から3階へ移転します。

これにより本部機能が集約され、文字どおり当協議会の拠点施設として運営していくとともに、職員一同これまで以上に皆様に信頼される社協づくりに努めてまいります。



■移転先：〒943-0806 上越市木田新田1丁目1番3号 上越総合福祉センター3階

■電話：025-526-1515

■FAX：025-526-1230

■営業開始日：3月25日(月)

総務課、地域福祉課、介護サービス課、上越南・北支所

「ほっと安心生活サポーター」のボランティア(提供会員)を募集しています。

「ほっと安心生活サポーター」は、地域に住むひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯、障がいのある方々(利用会員)が、安心して暮らせるようにボランティア(提供会員)が、家事を中心とした生活のお手伝いをする有料の在宅サービスです。

- ・必要要件 ボランティア活動に理解のある20歳以上の方
- ・活動内容 掃除・洗濯・生活必需品の買物・話し相手・外出の付添い・身の回りの世話など
原則として、土曜・日曜・祝祭日を除く、午前9時から午後5時までの時間帯
- ・登録方法 上越市社会福祉協議会各支所でご登録ください。
- ・報酬 サービス提供30分につき250円を報酬として、活動月の翌々月に指定の口座へ振り込みます。
- ・問合先 地域福祉課 地域福祉係 ☎025-526-1515



じぶんの町を良くするしくみ

平成30年度 赤い羽根共同募金運動のご報告



たちばな幼稚園児によるオープニングイベント

平成30年度赤い羽根 共同募金運動の実績額

31,249,322円



「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、昨年10月から12月までの3ヶ月間実施した赤い羽根共同募金運動では、市民の皆さまのあたたかいご支援により、たくさんの善意の募金をいただきました。

運動期間中ご支援いただきました地域の方々、学校、事業所、各種団体の皆さまに心から感謝とお礼を申しあげます。



平成30年度の赤い羽根共同募金運動の目標額は**32,497,000円**でした。
目標額に対する実績額の達成率は**96.2%**となりました。

・ 合併前上越市	14,333,596円	・ 柿崎区	1,906,257円	・ 板倉区	1,696,114円
・ 安塚区	929,884円	・ 大潟区	1,893,986円	・ 清里区	703,150円
・ 浦川原区	1,446,489円	・ 頸城区	1,975,109円	・ 三和区	1,286,342円
・ 大島区	716,797円	・ 吉川区	1,193,857円	・ 名立区	941,768円
・ 牧 区	777,376円	・ 中郷区	1,448,597円		

**皆さまからお寄せいただいた募金は、
平成31年度の様々な地域福祉活動に活用されます。**

災害対策事業（上越市社会福祉協議会）

大規模な災害の発生に備えて、市内外の関係団体と日頃から連携し、ボランティア活動が円滑に行われるよう協議を行っています。いざ、災害が発生した時は、上越市社会福祉協議会が中心となり「災害ボランティアセンター」を設置し、被災された方の支援を行います。

また、市外の災害に対しては、被害の規模に応じてスタッフの派遣やボランティアバスの運行を行います。



西日本豪雨での支援活動

●このほかにも、下記の活動等に活用されます。

- ・ 「ふれあいいきいきサロン」や「ふれあい支え合いマップづくり」等の地域福祉活動
- ・ 「上越市手話サークル連絡協議会」や「大潟の子どもを育てる会」等の福祉活動
- ・ 新潟県全域のボランティア活動や民間NPO等の支援 ほか



赤い羽根共同募金ホームページ「赤い羽根データベースはねっと」では、赤い羽根募金の様々な情報を公開しています。
(<http://www.akaihane.or.jp/>)



活動レポート 地域で キラリ!

今回は、保倉地区
の民生委員児童委員

(OB含む)の代表山岸功様より、「エコキャップ運動」についてご紹介いただきます。

保倉地区は国道253号線が走り、妙高山と米山を望む、豊かな水と圃場整備された農業園の地域です。

保倉小学校が実施していた「エコキャップ運動」を引き継ぐ形で、平成26年5月より保倉地区民生委員児童委員(OB含む)が活動を継続しています。同地区17町内と小学校・保育園・公民館・特別養護老人ホームへ、偶数月に一回メンバーが回収に回ります。回収時は高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者世帯、要援護世帯への声掛けや見守りも行います。

私達の訪問を待っていてくださる方もあり、「元気でいたかね?」「もうじき春耕だね!」と会話も弾みます。飲料水キャップを外す力を話題に、握力・筋力量の様子も確認し、元気で過ごす高齢者の健康指標にしています。



保倉地区民生委員児童委員
(OB含む)のみなさん

代表 山岸 功様
(写真 前列左)



各町内に
設置された
回収かご

回収したキャップは、JCV(世界の子どもにワクチンを:日本委員会)に提供しています。その成果についても、保倉小学校へ民生委員児童委員が訪問し、エコキャップの活用についてのお話や保倉地区における福祉的な教育のひと役を担っています。エコキャップ約800個で一本分のワクチンになること、自分たち保倉の活動が世界の子どもたちを救う活動になっていること:目を輝かせて聞き入る保倉の子どもたちは自らの活動への達成感や郷土への誇りを感じ、また自らの生活に活かしていきます。

各家庭でも1個のキャップの重さが身にしみるようになり、回収される数も増加しています。数量も大切ですが、訪問件数の把握や意見交換を行い、委員同士住民同士が、互いに安心安全な地域づくりを目指して今後も活動を継続していきます。

インフォメーション(お知らせ)

Jouetushisyakyo Information

平成31年度 手話通訳者を目指す方のための「手話養成講座」(上越市委託事業)

【手話基礎編】

- 日 時: 5月11日㊥~11月30日㊥の全25回(毎回土曜日)
午後2時~4時
- 対 象: 市内在住の18歳以上で入門編を修了した方。
- 申 込: 申込書(申込先に請求または当会ホームページからダウンロード)と入門編修了証書(写)を4月12日㊥までに提出してください。

*入門編は平成32年度実施予定です(2年に1回の開催のため)。

【共通事項】

- 場 所: 上越市市民プラザ
- 問合せ・申込先: 地域福祉課 (☎025-526-1515 / FAX025-526-1230)

【手話ステップアップI講座】

- 日 時: 6月7日㊥から全10回(毎回金曜日)
午後7時~9時
- 対 象: 基礎編を修了し手話通訳者を目指す方、且つ手話サークルで活動し上越市ろう協会の行事等に参加協力できる方。
- 申 込: 申込書(申込先に請求)と基礎編修了証書(写)を4月19日㊥までに提出してください。

【理事会・評議員会開催報告】

11月7日に平成30年度第2回理事会、11月21日に第2回評議員会を開催し、全ての案件が原案どおり可決・承認されました。

議 案
懲戒処分の手続きに関する規程の制定について(理事会案件)
会計監査人候補者の選定について(理事会案件)
平成30年度資金収支補正予算について
評議員会の招集について(理事会案件)

善意の寄付に感謝を込めて…

平成30年9月1日から

平成31年1月31日まで

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご浄財を社会福祉に使用させていただきます。
大変ありがとうございました。(寄付金額1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)



社会福祉事業のために

●本所

NOC新潟県お見合いセンター上越 支援資金
株式会社ユアテック上越営業所 支援資金
新潟県社交飲食業生活衛生同業組合 上越支部 38,000円
NPO 上越橋会 50,000円
JAえちご上越直江津地区農協まつり 支援資金
一般財団法人上越市環境衛生公社 61,455円
日本伝道福音教団高田聖書教会 10,000円
上越教育大学附属図書館ミニ古本市有志 支援資金
木田新田ゲートボール 10,000円
曹洞宗新潟県第三宗務所青年会 17,055円
鴨島1丁目老人会「いきいきクラブ」 12,731円
澤田清直(木田) 17,636円
上越ニットサークル 10,000円
上越友の会 10,000円
匿名 20,000円
有田趣味の家 支援資金
三菱ケミカル労働組合北越支部直江津分会 28,203円
直江津ロータリークラブ 100,000円

●安塚支所

東頸地区仏教会 15,000円
やすづか学園
秋山正道、一般財団法人上越市環境衛生公社、桐生錦一、丸田弘、竹内賢・康子、中村修治、渡辺秀昭 支援資金

●浦川原支所

東頸地区仏教会 15,000円
浦川原商工会工業部会 15,000円

●大島支所

東頸地区仏教会 15,000円

●牧支所

東頸地区仏教会 15,000円

●柿崎支所

小山舜介(直海浜) 100,000円
柿崎商工会女性部 44,600円
町の音楽家 10,000円
上越カラオケ研究会(金谷) 20,358円
直海浜町内会 支援資金
濱口エツ子 20,000円
匿名(竹鼻) 支援資金
サンサン会(柿崎) 35,000円

●大潟支所

大潟ゴルフ同好会(犀潟) 30,000円
愛音の会 23,539円

●頸城支所

茶道クラブ(百間町) 12,380円
井澤ハツ子(矢住) 50,000円
JAえちご上越頸城支店 支援資金

●中郷支所

古川景一 支援資金

●清里支所

笠尾カウ子(上深澤) 70,000円

●三和支所

本山和雄 支援資金

●名立支所

高橋藤一郎(田野上) 20,000円

物品

●本所

高田理容組合女性部 タオル60枚
直江津理容組合 タオル120枚
関川建築設計事務所 関川 昂 子ども用布団 1式
春日新田七福会 雑巾62枚
佐野美江子 支援物資
小町いづみ会 タオル74枚
上越北消防署管内防火管理者協会 車椅子5台
佐藤トミ・シズ子(春日新田) 牛乳パック椅子60個

●稲熊眞七郎

支援物資
高田たばこ販売協同組合 タオル200枚
なごみ会 タオル285本
内山君代 玄米30kg
池田建二 ゆず約15kg
匿名 タオル20枚
匿名 石油ファンヒーター1台
UDトラックス新潟株式会社上越支店 カレンダー44本

匿名 シーツ、かけ布団カバー多数
五智1丁目町内会・五智1丁目ふれあいの会 アルミ缶プルトップ6.4kg
釜田英一 畑用地

●春日山荘

齊藤博(栄町) 陶芸工具一式
大山幸栄(国府) 碁盤・碁石1セット

●安塚支所

やすらぎ荘
匿名 車椅子1台、4点杖2本
鍼灸マッサージ謙心庵 タオル70枚
安塚商工会女性部 雑巾130枚
増田一男 里芋約30kg
匿名 男性用ズボン1組、肌シャツ2組ほか
やすづか学園
小林福夫 お米10俵

●浦川原支所

山崎活美 尿取りパット8袋
舟波哲治 リハビリパンツ33袋
安心パット11袋

●大潟支所

やすらぎの家
小山清(土底浜) マッサージ機1台
タキヤ理容所南雲義美 業務用洗剤2箱

●頸城支所

関川博史 タオルケット3枚
肌掛け布団1枚

●吉川支所

吉川商工会女性部 タオル71本
佐藤スミ子(大乗寺) 浴衣10着、紙パンツ2袋ほか
いこいの里あさひ 匿名 米35kg
ほほ笑よしかわの里 渡邊幸雄 油絵(30号)1枚
平田八重 リハビリパンツ2袋、パット1袋

●板倉支所

サクラ印刷株式会社 色厚紙 多数
ふれあい工房
アーコニック・ジャパン株式会社 アルミ缶 多数

●三和支所

楚山義則(野) 紙パンツ4袋

使用済切手

割烹大善、共栄自動車(株)、障害児(者)相談支援センターかなや、小栗謙一(株)大島組、(株)ジョーサン、高田西城病院精神保健福祉相談室、上越八幡郵便局、千名幹雄、住友生命新井支部(有)渡辺工務店、一般財団法人上越環境科学センター、池田昌弘、(有)上新オート、関川建築設計事務所、名長会第7地区民生委員児童委員協議会、太田勝昭、(株)MARUWA、上田税務会計事務所、大和ハウス工業(株)、(株)滝田、第四銀行高田営業所、牛木商事(株)、高橋純子、株式会社久保田土木村田キク子、佐藤菜、第4地区民生委員児童委員協議会、手話友の会、井澤建設機械サービス、飲食店るい(類)南城町1丁目ほっこり家、合資会社増屋商店、北諏訪地区公民館利用者一同(株)トスネット上信越上越営業所、上越市教育委員会社会教育課、高田たばこ販売協同組合、犀潟郵便局、山後知恵子、医療法人麗会、有終福寿会、寺町3丁目婦人会、上越市鴨島1丁目老人会「いきいきクラブ」、伊藤製量、エルマール、白石義貞、(株)オアシスMSC新潟労災病院店、柿崎郵便局、稲井浩子、高田子どもの本の会、高田文化協会、特定非営利活動法人大杉の里、公益財団法人上越勤労者福祉サービスセンター、株式会社上越メンテナンス、玉井和浩税理士事務所、新潟県立中央病院地域連携センター、新潟県信用組合高田支店、上越シルバー人材センター直江津有田郵便局、さくら園つばき工房石田洪栄、仲町6丁目町内会、五智一丁目町内会・五智一丁目ふれあいの会一般財団法人上越医師会、高士郵便局新潟県立上越特別支援学校、エフビー介護サービス(株)、匿名

平成30年度上越市社会福祉協議会表彰式を開催

平成30年11月21日⑧に「やすね」において、平成30年度上越市社会福祉協議会表彰式を開催し、長年にわたり上越市において社会福祉に功績のあった方々を表彰いたしました。

表彰を受けられた皆さまをご紹介します（順不同・敬称略）

◆上越市社会福祉協議会長表彰 被表彰者

- 民生委員児童委員
（12年以上在籍し功績顕著な方）
佐藤 東
- 上越市社会福祉協議会役員
（役員・評議員で10年以上在籍し功績顕著な方）
三浦 元二
- ボランティア団体
（活動期間が概ね5年以上で、活動顕著な団体）
傾聴ボランティアグループ 陽だまり
- ボランティア個人
（活動期間が概ね5年以上で、功績顕著な方）
荻野 みえ子
桐山 政子

平成30年度 上越市社会福祉協議会表彰式



おめでとうございます



福祉介護健康フェア2018

「安心できる暮らしを提案～明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて～」をテーマとする「福祉介護健康フェア」が11月23日に上越市社会福祉協議会、新潟日報社、新潟県社会福祉協議会の共同主催で開催され、1,600人を超える方々からご来場いただきました。

福祉・介護・健康に関する企業や団体のブース展示があり、最新の介護用品の体験、介護食の試食など、福祉を身近に感じていただく機会になりました。



ステージイベントでは「R1グランプリ2018」チャンピオンに輝いた濱田祐太郎さんと小野沢裕子さんが対談し、笑いで会場を盛り上げました。また、地域医療のスペシャリスト、福井県おい町国保名田庄診療所所長中村伸一さんの講演では「人生100年時代の幸福論」をテーマに、笑顔でいることや感謝することで幸福度が高まり、地域における人とのつながりが健康長寿・介護予防の鍵になるなど、人生100年を健やかで幸せに送るためのポイントを分かりやすく教えていただきました。

皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515 ・ FAX 025-526-1230 Eメール jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp